

- 〈展覧会紹介〉特別企画展「ミュシャ展 ～アール・ヌーヴォーの女神たち～」 [2～3]
- 〈イベント報告〉コレクション展「いざ、冒険へ！めくるめく物語の世界
～ルネサンスから絵本まで／新収蔵作品展」 [4]
- 〈イベント報告〉テーマ展「ワンダー☆浮世☆ランド」 [5]
- 〈イベント報告〉コレクション展「華麗なる工芸の世界」 [6]
- 〈祝 福井県立美術館ボランティアの会30周年〉ボランティアさんとの思い出話 [7]
- 〈イベント報告〉福井県立美術館実技講座受講生作品展 [8]
- 秋の展覧会のお知らせ
- 展覧会特別メニューのお知らせ
- 休館日のお知らせ

表紙：左から《ジョブ》(部分) 1896年、《夢想 シャンブノア》(部分) 1897年、《モナコ・モンテ・カルロ》(部分) 1897年 すべてアルフォンス・ミュシャ、OGATAコレクション



ミュシャ展 2025 7.19^{SAT} >>> 8.31^{SUN} | 福井県立美術館

アール・ヌーヴォーの女神たち 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) ※7月19日(土)は午前10時～ 会期中無休

観覧料：一般 1,700円(前売り・団体1,400円)、ペアチケット 2,600円(前売りのみ)、高校生 1,100円(団体900円)、小・中学生 800円(団体600円)
 ※団体は20名以上。※高校生は生徒手帳の提示が必要です。※未就学児は無料。※混雑等のため、入場制限を行う場合や中止になる場合があります。
 (前売り券販売) 6月1日(日)～7月18日(金) [コンビニ端末] チケットぴあ(Pコード:687-236)、ローソン(Lコード:51685) [電子チケット] ふくアプリデジタルチケット
 主催：ミュシャ展福井実行委員会(福井県立美術館、福井新聞社、福井テレビ) / 企画制作：アール・ヌーヴォーの女神たち実行委員会 / 協力：OGATAコレクション

映像空間×作品展示 ハイブリッド展覧会

時代を超えて、今もなお愛されるアルフォンス・ミュシャの作品。臨場感のある映像空間と展示作品が同時に楽しめるハイブリッド展覧会が福井に上陸！高精細プロジェクターによる映像空間では、19世紀パリの街並みに飛び込んだような世界観の中を、ミュシャの描いた「女神たち」がダイナミックに躍動します。リアルな作品も充実。花々に彩られた女性が軽やかに舞う商業ポスターや「装飾パネル」をはじめ、図案集や商品パッケージなど、ミュシャが手がけた多様な作品約200点を展示します。本展は、リアルとデジタル両方で“ミュシャを全身で体験できる”ハイブリッド展です。

Immersive 映像空間



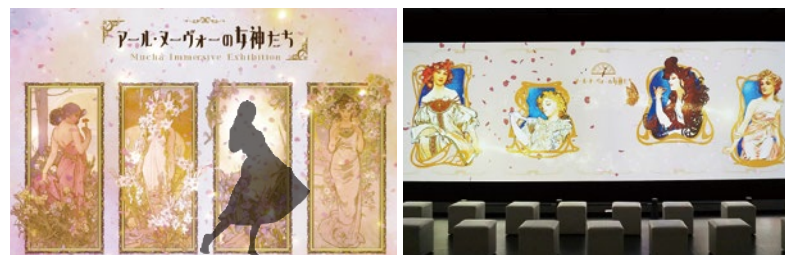
いま、みて感じる 動くミュシャ

本展覧会の目玉になる映像空間では大きく2パートで構成しています。前半はミュシャの生涯で大きな転機となったパリ時代の華やかで躍動感のある世界を再現。そして、後半は祖国チェコへの愛を壮大なストーリーで映像化しました。特に人気の高い代表作「ジスモンダ」をはじめ、「モナコ・モンテ・カルロ」、「JOB」、「夢想」などの多くの名作が登場。大画面の映像空間にミュシャが思い描いた作品世界を全身で味わえます。映像内でミュシャが描いた女性達の表情が変化し、生命が吹き込まれたような感動とともに、まるで実際に当時の女性たちに会ったかのような臨場感をお楽しみください。

イマーシブフォトコーナー

会場内に2つの動くフォトコーナーが登場！1つは映像空間内に、もう1つは展示エリアに設置しています。静止画・動画撮影どちらもお楽しみいただけます。ぜひ、お気に入りのワンシーンを撮影してください。

※撮影時は他のお客様へのご配慮をお願いします。



Events 関連イベント

見どころ解説会

[観覧券不要・申込み不要・先着40名]
 日時：会期中土曜日 午前10時30分～ 約20分程度
 講師：展覧会担当学芸員
 会場：美術館講堂
 ※7月19日(土)、8月2日(土)、8月16日(土)は尾形寿行氏によるギャラリートークの準備のため開催されません。

ミュシャのしおりを作ろう！

[申込み不要・無料]
 本展覧会の観覧券半券をアップサイクル！しおりとして再利用してみませんか？
 日時：7月27日(日)、8月9日(土)
 各日 午後1時～午後4時まで
 会場：美術館貸展示室

色えんぴつでミュシャらしい配色を表現してみよう！一ぬり絵体験ー

[当日観覧券必要・申込み不要・無料]
 日時：8月11日(月・祝) 午前11時～
 アイテムがなくなり次第終了
 講師：色彩イラストレーター えこ 船井里江子
 会場：美術館貸展示室



オリジナルサシェ (ハーブの香り袋)を作ろう！

[当日観覧券必要・申込み不要・無料]
 日時：7月26日(土)
 ①午前11時～／②午後1時～
 各回 先着20名
 講師：稲葉美智子(NPOジャパンハーブソサエティ 上級インストラクター)
 会場：美術館貸展示室



尾形寿行氏によるギャラリートーク

[当日観覧券必要・申込み不要]
 アルフォンス・ミュシャの世界的コレクター尾形寿行氏によるギャラリートークを開催します。
 日時：7月19日(土) ①午前11時～
 8月2日(土) ①午前11時～／②午後2時～
 8月16日(土) ①午前11時～／②午後2時～
 講師：尾形寿行(本展企画協力者)
 会場：美術館展示室

アートと音楽で奏でる「ミュシャ」 ナイトミュージアム

[申込み必要・定員：40名]
 一夜限定のナイトミュージアムです。貸切の夜の美術館で担当学芸員による解説とミュシャの世界をチェリスト荒井結氏が奏でます。
 開催日：7月20日(日) 午後6時～午後8時
 チェロ演奏者：荒井 結
 参加費：4,000円(展示解説・入館料・ミニコンサート込)
 申込先：ミュージアムショップもしくはinfo@greenlab.jpまで



Photo: GUY PHOTOGRAPH

Original Work 作品展示

約200点にも及ぶ人気作品が一堂に!!

世界有数の作品所蔵数を誇るOGATAコレクション協力のもと、約200点の作品を4章の構成にて展示。時代を経てもなお輝きを増すミュシャの描く女性像に迫ります。

第1章 麗しの女神

ミュシャが描く作品の最大の魅力は、美しい女性表現です。フランスを代表する女優サラ・ベルナールが主演する演劇ポスター「ジスモンダ」を手がけ、一躍脚光を浴びることになりました。魅力的な女性が描かれ、やがてポスターを収集する愛好家まで生まれます。「装飾パネル」というジャンルさえ登場するほどでした。



ジスモンダ 1895年 カラーリトグラフ

第2章 暮らしの彩り

豊かな色彩の印刷物はポスターだけにとどまらず、パッケージ・ポストカード・カレンダー・メニューなどに展開され、暮らしを彩るようになりました。商業的な人気だけにとどまらず、パリ万国博覧会で受賞するなど彼の存在は国内外で揺るぎない地位を確立するまでに至りました。



ルーフ・ブル・ユテル 1896年 カラーリトグラフ

ランス香水 ロド 1897年

第3章 スタイルの美

下積み時代から生計をたてるために始めた挿絵の制作は、人気作家となっても積極的に続けられました。さらに、ミュシャ・スタイルの見本帳とも言える「装飾資料集」を手がけ、デザイナーやデザイナーを学ぶ学生の手引き書として広く流通しました。挿絵の仕事は、ミュシャの晩年まで続くいわばライフワークとして、重要な位置を占めています。



花言葉 1907年 カラーリトグラフ

第4章 祖国と名声

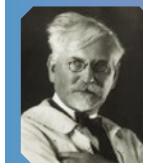
1910年、故郷チェコに移り活動を始めたミュシャは、本来目指していた画家としての活動をはじめます。祖国のために無償で紙幣や切手などを手掛け、さらに地域の催し物や独立を祝うポスターなど祖国とスラヴ民族の発展を願った仕事を多く引き受けました。伝統的な衣装を身にまとった女性たちが多く描かれています。



1918-1928年 独立10周年 1928年 カラーリトグラフ

Who is Mucha?

アルフォンス・ミュシャ (Alfons Mucha 1860-1939)
 19世紀から20世紀初頭に花開いたアール・ヌーヴォーの代表的な芸術家。現在のチェコ共和国に生まれ、当時のフランスを代表する女優サラ・ベルナールの演劇ポスターを制作し、一躍著名デザイナーになった。華やかなポスターを手掛ける一方で、祖国チェコやスラヴ民族をテーマにした作品を数多く制作。チェコの文化振興に貢献した。



※写真は大阪会場の様子です。

《イベント報告》

いざ、冒険へ！ めくるめく物語の世界

主催：福井県立美術館
後援：福井新聞社、NHK 福井放送局、月刊 URALA

【ルネサンスから絵本まで】

同時開催 新収蔵作品展

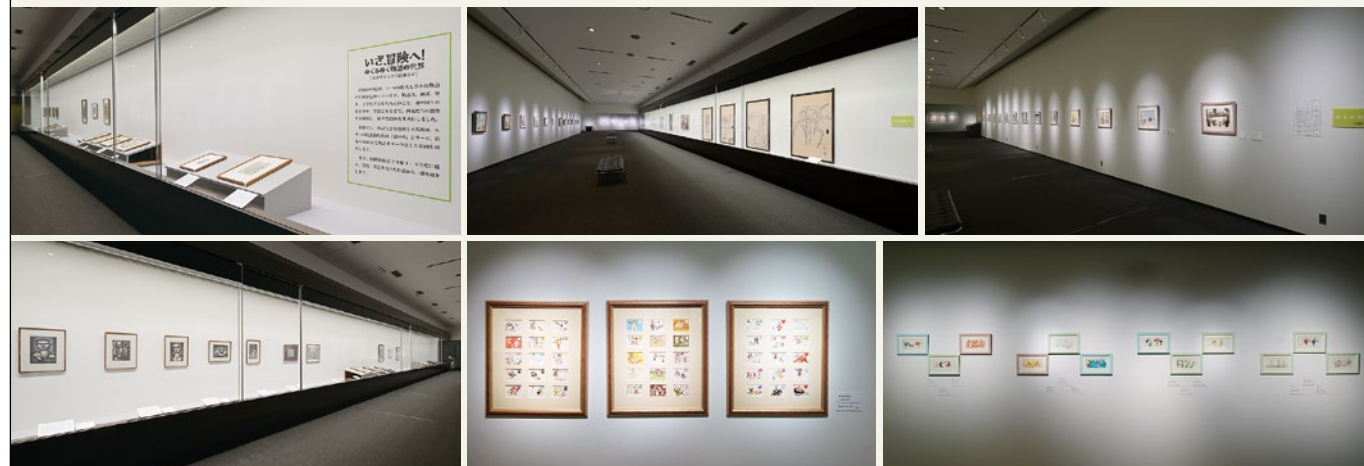
2025 3.4^火 → 3.30^日



絵画の中には、いつの時代も豊かな物語の世界が広がっています。物語は、神話、歴史、文学などはもちろんのこと、身の回りの出来事や、空想に至るまで、画家たちの想像力を刺激し、様々な絵画を生み出しました。

本展では、神話などを題材とする版画、ルオーの代表的な版画『悪の華』シリーズ、絵本の原作まで物語をテーマにした絵画69点の作品を展示しました。

また、同時開催にて令和4・5年度に新たに購入・寄贈・寄託を受けた作品の中から戸田正寿、水谷内健次、山下清の作品7点を展示しました。



《関連イベント》

●学芸員によるギャラリートーク

【日時】3月23日(日) 14:00～
【場所】第4展示室
【参加人数】23人

●学芸員トークサロン

【日時】3月7日(金) 15:00～
【場所】Café de musée PAPOTER (カフェ ド ミュゼ パポテ)
美術館併設喫茶室
【参加人数】13人

作品の紹介

《イクシオン》

ヘンドリック・ホルツィウス 1588年 紙、エングレーヴィング

ヘンドリック・ホルツィウス (1558-1617) は、ネーデルラントの画家、銅版画家。ステンドグラス職人であった父ヤンのもとで修業を積み、1577年にハーレムへ移住し、自らの工房を構え画家たちの中心として絵画作品を造り、後期のマニエリスムに多大な影響を与えました。

イクシオンは古代ギリシャ神話中に登場する伝説的人物です。オウィディウス『変身物語』では、冥界で永劫の罰を受ける人物として挙げられています。彼の罪は、主神ゼウスの妻ヘラに恋し、大胆にも彼女を手に入れようとしたこと。その罪のため、彼は業火の燃え上がる冥界タルタロスに落とされ、火焔車に縛られ永遠に引き回されることとなりました。イクシオンが真つ逆さまに落下する姿とエングレーヴィングの線による表現が見ごたえのある作品です。

本展ではその他に、『三王礼拝』や『王様の耳はロバの耳』で知られるミダス王が描かれた『ミダスの審判』など3点を展示しました。



《良きサマリヤ人》

ロドルフ・ブレダン 1861年 紙、リトグラフ

ロドルフ・ブレダン (1822-1885) は、フランスに生まれ、パリで育ちました。細密な描写と独特の質感により、エッチング、リトグラフを制作した版画家です。独学で版画を習得し、作品の幻想性に加えその自由奔放な生きざまがボードレールなどの文学者を魅了。ルドンの師としても知られます。

鬱蒼とした森に光が射し、荷を積んだ一頭のラクダを照らし出しています。ラクダの足元に描かれるのは、身ぐるみ剥がれ横たわる男と、彼をのぞき込むもう一人の男。周囲には植物が過剰なまでに繁茂し、茂みから生きものが顔をのぞかせている様子がうかがえます。



《イベント報告》

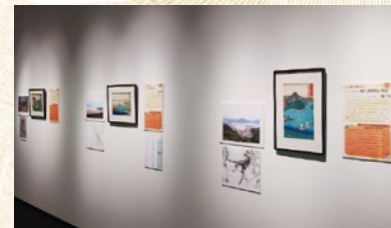


2025

4/11^{FRI} - 5/11^{SUN}

【主催】福井県立美術館

【後援】福井新聞社、NHK福井放送局、FBC、福井テレビ、FM福井、福井ケーブルテレビ、さかいケーブルテレビ、こしの都ネットワーク、月刊URALA



「浮世」をテーマに岩佐又兵衛から昭和の作品まで、長い歴史の中で伝統を受け継ぎながら庶民を中心に発展していった美術を展覧しました。初出展作品も含めた力ある作品の数々によって、活気あふれる時代の様相を楽しく見る事ができました。また今回は、専門家のみなさまを特別ゲストにお呼びしたコラボ企画を3回開催し、にぎやかな浮世文化を様々な角度から深掘りしていきました。



クロスギャラリートーク

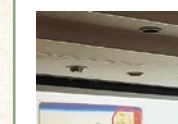
【日時】4月20日(日) 14:00～15:00

【場所】県立美術館展示室

【ゲスト】後藤ひろみ氏(福井県歴史活用コーディネーター)

【参加人数】73人

岩佐又兵衛を長年追いかけている後藤ひろみ氏と共に又兵衛に始まった浮世絵の世界を歴史の視点から見ていきました。



トークイベント 「浮世絵と古地図から見るふくいへの景色」

【日時】4月29日(火・祝) 14:00～15:30

【場所】県立美術館講堂

【登壇者】伊藤大生氏(福井県立歴史博物館 学芸員)

【参加人数】66人

歴史地理学の専門家・伊藤大生氏を招き、浮世絵に描かれた福井を古地図と現地調査を踏まえて語りました。



スペシャルギャラリートーク

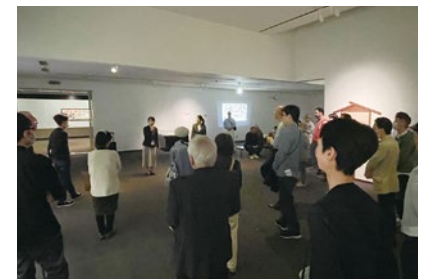
【日時】5月4日(日) 14:00～15:30

【場所】県立美術館展示室

【講師】前田詩織氏(福井市美術館 学芸員)

【参加人数】60人

浮世絵の専門家・前田詩織氏に歌川広重と葛飾北斎の比較をはじめとして、奥深い浮世絵のお話をうかがいました。



《関連イベント》

●学芸員トークサロン

【日時】4月18日(金) 18:00～19:00
【会場】Café de musée PAPOTER (カフェ ド ミュゼ パポテ)
美術館併設喫茶室
【参加人数】9人

●学芸員によるギャラリートーク

【日時】4月19日(土)、26日(土)、5月4日(日)、10日(土)
いずれも14:00～15:00
【会場】県立美術館展示室
【参加人数】66人



中国・明代から現代まで、大陸の文化を受け入れつつ独自の文化を発展させていった日本工芸の優品を圧倒的なボリュームでご覧いただきました。陶芸、漆芸、染織、紙、金工という幅広いジャンルの工芸は、ひとつひとつに作家の技と研究の成果が詰め込まれており、長い年月に培われた日本工芸の質の高さを堪能することができました。

《関連イベント》

●ワークショップ 「越前和紙で! 版画体験」

[日 時] 6月1日(日) 14:00～16:30
[場 所] 県立美術館 エントランス
[講 師] 前田詩織氏
(福井市美術館 学芸員)
[参加人数] 53人

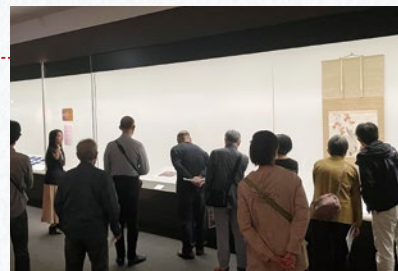
浮世絵版木の作り方を学びながら、越前和紙を用いた版画を体験しました！

【主 催】福井県立美術館



●学芸員による ギャラリートーク

[日 時] 5月24日(土)、6月7日(土)
14:00～15:00
[場 所] 県立美術館 展示室
[参加人数] 27人



祝 福井県立美術館ボランティアの会30周年

ボランティアさんとの思い出話

佐々木 美帆 (福井県立美術館 学芸員)

平成8 (1996) 年1月に設立された福井県立美術館ボランティアの会は、今年30周年を迎えます。そのボランティアさんとの思い出話を少し書き留めておきます。

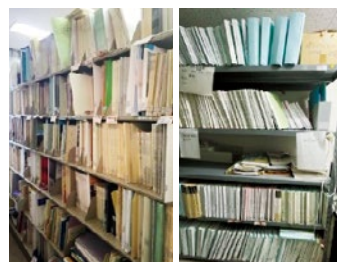
当方が学芸員1年目の夏に担当した展覧会はボランティア10周年を記念した、ボランティアとの共催展「びっくりぎょうてん! 紙わぎの世界展」でした。一緒に出張し、展覧会の打ち合わせを行い、会場の飾りつけから毎週末のワークショップを共にこなし、助けられた経験から次回からはすっかり頼りきりになりました。

平成19 (2007) 年の「あそびにおいて! 動物ファンタジーへ」もナイトミュージアム体験を企画した思い出深い展覧会です。館内探検中にカーニバルの女王に会い、そのままサンバカーニバルに巻き込まれるという、若気の至りの設定をよく館が見逃してくれたと思います。協力いただいた福井大学の学生さん、妖艶で華麗なダンスを披露してくれた明宝ダンススクールのお姉さまたち、そしてサポートに徹してくれたボランティアさんたち、皆さまのお力添えでやり切ることが出来ました。準備の段階で女王役のボランティアのKさんとダチョウの羽根で背負い羽根を手作りしたのも懐かしい思い出です。一人では何も出来ませんが、

ボランティアさんがいればどんなことでも出来たのです。

一時は100名近い会員を有し、インフォメーションでの接客、当館コレクション展での解説ボランティアなど、その活動は多岐に渡りましたが、平成28 (2016) 年の20周年を機に従来の活動を見直し一旦解散しました。同年4月から新たな体制で活動を再開し、現在会員は22名です。美術館に集まる情報の整理を担う「新聞班」の活動を核とし、親子鑑賞会などでのちょこっと解説 (通称ちょこボラ) や、ワークショップのお手伝いなどをして頂いています。形は変われども、30年間脈々と続けられた資料整理、新聞の美術情報切り抜きなどは膨大な知の集積となっており、今後、一般の方への活利用を模索しているところです。

さて、設立30周年という特別な年を迎えるにあたり、今年11月からの「大どろぼうの家」展では、ボランティア主催のワークショップも開催予定です。これからのボランティア活動にはずみをつけるものとなるよう、ただいま準備中です！



ボランティアさん
30年の整理のたまもの
他館紀要類 (左)、新聞の美術情報切り抜きのスクラップブック (右)

【福井県立美術館ボランティアの会受賞歴】
平成17年 福井県民社会貢献活動奨励賞
平成24年 中日ボランティア賞

令和6年度 福井県立美術館実技講座受講生作品展

2025年3月16日(日)～3月23日(日) 第1展示室

主催：福井県立美術館

福井県立美術館では、県内の著名な先生方を講師にお迎えし、「日本画」・「洋画」・「素描 (デッサン)」・「水彩画」の実技講座を開催しております。

講座は「基礎講座」と「専門講座」に分かれており、初めて絵を描く方から、より深く学びたい経験者まで、それぞれのレベルに合わせて学べる内容となっています。

このたび、実技講座の成果発表として受講生が講座内

で制作した作品と講師の先生方の作品、延べ104名による152点の作品を一堂に展示いたしました。

幅広い表現や技術を間近で見ることができる機会となりました。

会期中には、864名の方々にご来場いただき、多くのご好評をいただきました。



基礎講座	
開催日	土曜日
講座回数	10回
講座時間	9:30～12:30、13:30～16:30
日本画	静物
洋画	風景、静物
素描(デッサン)・水彩画	風景、静物

専門講座	
開催日	土曜日
講座回数	25回
講座時間	9:30～12:30、13:30～16:30
日本画	風景、人物、静物
洋画	風景、人物、静物
素描(デッサン)・水彩画	風景、人物、静物

「大どろぼうの家」

【会期】2025年11月22日(土)～2026年1月12日(月/祝)

※休館日 2025年11月25日(火)、12月1日(月)、12月8日(月)、12月15日(月)
12月22日(月)、12月30日(火)～2026年1月1日(木)

かの有名な大どろぼうが引退を決め、最後の盗みに出かけたとの情報が入りました。留守の家にこっそり忍び込んで、廊下、応接室、隠し扉の中、どろぼう倉庫を巡れば、歴代のどろぼうの肖像画や変装道具、宝物に美術品、数々のガラクタが。そして絵本作家を盗んで描かせた絵本の原画も。大どろぼうは一体誰なのか、どんなどろぼうなのか。新井風愉、伊野孝行、幅允孝、名久井直子、ヨシタケシンスケらが参加するスリル満点の展覧会です。



©Maiko Dake



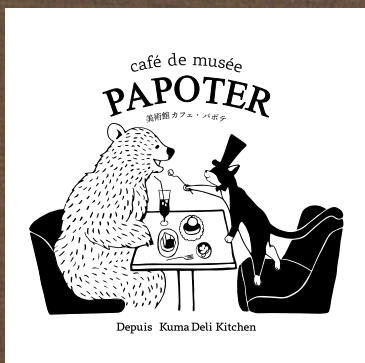
©Thienemann-Esslinger Verlag GmbH



©Diogenes Verlag



©Shinsuke Yoshitake



Depuis Kuma Deli Kitchen

【営業時間】

9:00～17:00

【定休日】

不定休

* Instagram、
店頭のカレンダー
をご覧ください。



Instagram

ミュシャ展特別メニュー

「ミュシャ展 アール・ヌーヴォーの女神たち」に合わせて、コラボセットをご用意しました。ラテでは、女神の横顔と華やかな世界観を表現。セットの焼き菓子は、フランスで活躍したミュシャにちなみ、フランス伝統菓子のカヌレとマカロンを。作品を見た後の余韻と共に楽しみいただけたら幸いです。



お知らせ

◎2025年7月～10月の休館日について

館内メンテナンス、展示替え等のため下記の日程は休館とさせていただきますのでご了承ください。※ は休館日です。

2025年 7 月 July							8 月 August							9 月 September							10 月 October						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5					1	2		1	2	3	4	5	6				1	2	3	4
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30	28	29	30					26	27	28	29	30	31	
							31																				



美術館のHPはこちら